



「バリアフリーについて調べてみた」新聞



志村坂下小学校
6年 松尾 昂
7月31日



駅に入るまでの道

駅の改札階が地上にある時には、スロープで改札階までつないでいる駅が多い。

ホームの高さ

電車とホームのすきまが同じ高さになるようにホームの高さを電車のドアの高さに調整されています。それは車いすやベビーカーなど乗り降りしやすいように考えられているからです。

↓東武東上線板橋駅ホーム



ホームドア

ホームドアがついていてるところがありますよね。それはひとがてんらく、落とし物をしないようになっています。一方でホームドアがついていないところがあります。それは、費用だったり電車のドア数だったりドアの位置が異なる路線はホームドアの設置に時間がかかっています。

東武東上線では成増駅、東武練馬駅、下赤塚駅は2027年にホームドアがつく予定だそうです。そのほかの駅は未定だそうです。

いろいろなバリアフリー



エレベーター

皆さんの駅の近くなどにエレベーターがありますね。エレベーターには工夫があるのを知っていますか？
エレベーターには改札階から入ったら車いす、ベビーカーに乗っている人が方向を変えずに真っ直ぐホーム階に行けるようドアが両方にあるところがあります。



東武東上線 池袋駅↑

トイレ

トイレには目が見えない人用に音声案内がついています。誰でもトイレは誰が使ってもいいトイレです。誰でもトイレは中が広いので、車いすなど乗って入ることもできるし手すりがあるので誰でも使えます。

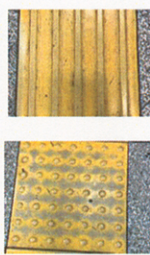


東部東上線池袋駅
トイレ↓↑



点字ブロック

これは目の見えない人が杖で突いて道をさるとのことです。点字ブロックには2つの種類があります。1つ目はすすめの直線4本以上引いてあるもの。2つ目は警告ブロックです。警告ブロックには点（突起）が49個ついています。



2段手すり

2段手すりは階段やスロープにあります。1段目低い方が子供用、2段目に高い方が大人やお年寄りの人用になっています。

優先スペース

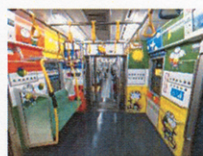
電車内に車いすやベビーカーの優先スペースがあります。そこは少し広がっています。

東武東上線2・9号車に優先スペースがあります。



東武東上線↑

都営三田線↓
の優先スペース



改札口

改札口には車いすやベビーカーなどがとおれる90センチ以上の改札があります。目の見えない人やつわしているひとなどのために改札を通った時に音が鳴るようになります。

自動券売機の工夫

自動券売機は、切符などを買うためにありますが券売機の下に大きいくぼみがあるところがあります。それは車いすに乗っている人が乗りながら、特急券などを買うようになっていきます。

発車、到着案内

目が見えない人や始めてきてもわかるようにこのホームにどこに行く列車なのかわかるようにアナウンスが入るようになっていきます。

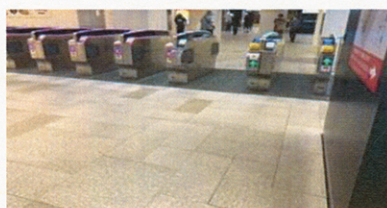


↓東部東上線池袋駅自動券売機



東部東上線 池袋電光掲示板↑

東部東上線 池袋駅自動改札機↓



電車の出口案内

電車のドアの上が光っていることがありますか？それは次の駅のホームで開くドアの上が光って、点滅します。

ライトとが電車は、ドアが開く時にドアチャイムが鳴ります

京浜急行電鉄

阪急電鉄

東急電鉄

北大阪急行電鉄（大阪）

などの電車で使用されています。



↓東部東上線板橋駅ホーム



左←点字シール

左←案内機



編集後記

点字ブロックの警告ブロックの数が49個もあるなんて知らなかったのでバリアフリーについて調べてみてよかったと思いました。

また、2段手すりは、ただのデザインだと思っていたけど、階段を上る多様な人に合わせ工夫していることに気づきました。目的に合わせて工夫していることが分かりました。鉄道は、人を運ぶだけでなく、人々の生活を豊かにしてくれていると思います。